

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4504372号
(P4504372)

(45) 発行日 平成22年7月14日(2010.7.14)

(24) 登録日 平成22年4月30日(2010.4.30)

(51) Int.Cl.		F 1
B 6 5 D 85/10	(2006.01)	B 6 5 D 85/10
A 2 4 F 15/12	(2006.01)	A 2 4 F 15/12

請求項の数 6 (全 14 頁)

(21) 出願番号	特願2006-521429 (P2006-521429)	(73) 特許権者	590003205
(86) (22) 出願日	平成16年7月9日(2004.7.9)		フォッケ・ウント・コンパニー (ゲーエム ペーハー・ウント・コンパニー・カーゲー)
(65) 公表番号	特表2007-500657 (P2007-500657A)		F o c k e & C o. (G m b H & C o. K G)
(43) 公表日	平成19年1月18日(2007.1.18)		ドイツ連邦共和国、デー - 2 7 2 8 3 フェルデン、シーメンスシュトラーセ 1 0
(86) 国際出願番号	PCT/EP2004/007541		
(87) 国際公開番号	W02005/014435	(74) 代理人	100058479
(87) 国際公開日	平成17年2月17日(2005.2.17)		弁理士 鈴江 武彦
審査請求日	平成18年8月16日(2006.8.16)	(74) 代理人	100108855
(31) 優先権主張番号	10335525.1		弁理士 蔵田 昌俊
(32) 優先日	平成15年7月31日(2003.7.31)	(74) 代理人	100091351
(33) 優先権主張国	ドイツ(DE)		弁理士 河野 哲
前置審査			

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シガレット用フリップ-トップ型パケット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

シガレットブロック(13)のためのヒンジ蓋つきボックス、またはパックの内容物としての他のブロック形態をなすブロックのためのボックス部(10)を備えるヒンジ蓋付きボックスであって、前記ボックスは、蓋(11)とカラー(12)と、広いボックスの前部壁(14)と対応するボックスの後部壁(15)と、幅の狭いボックスの両側部壁(16)と底部壁(17)と、幅の広い蓋の前部壁(18)と対応する蓋の後部壁(19)と、幅の狭い蓋の両側部壁(20)と上部壁(21)を備え、下記の(a)(b)(c)(d)(e)(f)(g)を特徴とするヒンジ蓋付きボックス。

(a)蓋(11)は、横断方向の直線的関節(22)によって、蓋の後部壁(19)の領域において、ボックス部(10)と、ボックスの後部壁(15)とに回動可能に接続されている。

(b)パック内容物の上または下に、蓋(11)の外側領域で、少なくとも、上部壁(21)と、蓋の前部壁(18)と蓋の後部壁(19)によって区画され、パック内容物の下側のボックス部の領域で、底部壁(17)と、ボックスの前部壁(14)と、ボックスの後部壁(15)によって囲まれ、パック内容物によって内側に区画される、自由な部屋(50, 51)が形成される。

(c)上部壁(21)および/または底部壁(17)は、少なくとも一部がアーチ状に、すなわち、蓋の一方の側部壁(20)から蓋の他方の側部壁(20)に、および/または一方のボックス側部壁(16)から他方のボックス側部壁(16)に滑らかに移行するよう

10

20

に形成されている。

(d)上部壁(21)および/または底部壁(17)の横断方向の一部の区域、すなわち、側部セクション(25)は、連続部となるように設計されており、すなわち、蓋の側部壁(20)またはボックスの側部壁(16)の内側の蓋の側部タブ(30)および/または内側のボックスの側部タブ(29)の端部タブ(27, 28)は連続している。

(e)上部壁(21)および/または底部壁(17)はセントラルセクション(26)において二重層設計をなす。

(f)上部壁(21)または底部壁(17)の外側には、クロスピース(35)が設けられ、前記クロスピースは上部壁(21)または底部壁(17)の面に延出する。

(g)端部タブ(27, 28)の端部領域はクロスピース(35)の内側に固定される。

10

【請求項2】

シガレットブロック(13)のためのヒンジ蓋つきボックス、またはパックの内容物としての他のブロック形態をなすブロックのためのボックス部(10)を備えるヒンジ蓋付きボックスであって、前記ボックスは、蓋(11)とカラー(12)と、広いボックスの前部壁(14)と対応するボックスの後部壁(15)と、幅の狭いボックスの両側部壁(16)と底部壁(17)と、幅の広い蓋の前部壁(18)と対応する蓋の後部壁(19)と、幅の狭い蓋の両側部壁(20)と上部壁(21)を備え、下記の(a)(b)(c)(d)(e)(f)(g)を特徴とするヒンジ蓋付きボックス。

(a)蓋(11)は、横断方向の直線的関節(22)によって、蓋の後部壁(19)の領域において、ボックス部(10)と、ボックスの後部壁(15)とに回動可能に接続されている。

20

(b)パック内容物の上または下に、蓋(11)の外側領域で、少なくとも、上部壁(21)と、蓋の前部壁(18)と蓋の後部壁(19)によって区画され、パック内容物の下側のボックス部の領域で、底部壁(17)と、ボックスの前部壁(14)と、ボックスの後部壁(15)によって囲まれ、パック内容物によって内側に区画される、自由な部屋(50, 51)が形成される。

(c)上部壁(21)および/または底部壁(17)は、互いにある角度をなす複数の平坦なセクション、すなわち、2つの傾斜したサイドセクション(25)と水平方向または横断方向のセントラルセクション(26)を備える。

(d)2つの傾斜したサイドセクション(25)は、どちらも鈍角をなして側部壁(20, 16)とセントラルセクション(26)に接する。

30

(e)上部壁(21)および/または底部壁(17)はセントラルセクション(26)において二重層設計をなす。

(f)上部壁(21)または底部壁(17)の外側には、クロスピース(35)が設けられ、前記クロスピースは上部壁(21)または底部壁(17)の面に延出する。

(g)端部タブ(27, 28)の端部領域はクロスピース(35)の内側に固定される。

【請求項3】

上部壁(21)および/または底部壁(17)は丸い側部セクション(25)を有し、前記側部セクション(25)は少なくとも部分的に長円の設計または長円の一部の設計を備え、前記側部セクション(25)が、比較的小さい半径で側部壁(16, 20)に接し、水平な中央領域、すなわち、中央セクション(26)へと遷移する点を特徴とする請求項1記載のヒンジ蓋付きボックス。

40

【請求項4】

蓋の前部壁(18)と蓋の後部壁(19)、および、ボックスの前部壁(14)とボックスの後部壁(15)は、上部壁(21)と底部壁(17)の輪郭に適合され、中央領域において、クロスピース(35)によって、互いに接続される点を特徴とする請求項1または2記載のヒンジ蓋付きボックス。

【請求項5】

上部壁(21)および/または底部壁(17)は、クロスピース(35)のサブ領域において端部タブ(27, 28)に設けられる拡幅部分(42)により蓋の前部壁(18)

50

と蓋の後部壁(19)の自由端部および/またはボックスの前部壁(14)とボックスの後部壁(15)の自由端部に支えられる点を特徴とする請求項1または2記載のヒンジ蓋付きボックス。

【請求項6】

室(50)は、上部壁(21)の対応する設計によってシガレットブロック(13)の上方において上部壁(21)の領域にのみに形成される点、および、底部壁(48)は、シガレットブロック(13)が前記底部壁(48)の内側と向き合って接するように、平坦な態様で設計される点を特徴とする請求項1または2記載のヒンジ蓋付きボックス。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

この発明は、1枚の内側ブランクに含まれたシガレットグループ-シガレットブロック-またはその他の(ブロック形態)物品用のヒンジ蓋付きボックスに関し、前記ボックスは、ボックス部と、ボックスの後部壁と蓋の後部壁の領域において横断方向を向く直線状の関節によって互いに接続される蓋部と、ボックスの前部壁と、ボックスの後部壁と、ボックスの両側部壁と、底部壁とを含むボックス部と、蓋の前部壁と、蓋の後部壁と、蓋の両側部壁と、上部壁を含む蓋を含む。

【背景技術】

【0002】

ヒンジ蓋付きボックスは、シガレットに用いられるパッケージの主タイプであるばかりでなく他の物品にも用いられる。スタンダードなヒンジ蓋付きボックスは、断面が直角の直立して横断方向を向くパックのエッジ部を備える直方体のデザインを有する。パックの寸法は、パックの内容物、特に、シガレットブロックの寸法に等しい。

20

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

この発明の目的は、そのようなヒンジ蓋付きボックスの開発を更に進めて、ヒンジ蓋付きボックスの基本構造を維持しつつも、ボックスが一方においては美しい外観を備えるとともに、他方においては挿入物をパック内に容易に収容することが可能なように改良することである。

30

【課題を解決するための手段】

【0004】

この目的を達成するために、この発明のヒンジ蓋付きボックスは、パックの内容物、特に、シガレットブロックの上方、および/または、下方に、少なくとも、上部壁および蓋の前部壁および蓋の後部壁、および/または、少なくとも、底部壁およびボックスの前部壁、およびボックスの後部壁によって区画されるキャビティまたは空洞部が形成される点を特徴とする。

【0005】

したがって、この発明のヒンジ蓋付きボックスの場合に空洞部またはフリーなスペースを形成するために、ボックスの前部壁とボックスの後部壁が、パックの内容物、すなわち、シガレットブロックを越えて、底部領域に延出されるか、および/または、蓋の前部壁と蓋の後部壁が、シガレットブロックを越えて、上部領域に延出される。

40

【0006】

1つの特徴は、上部壁および/または底部壁が、全体として、または部分的に、側部壁の曲折タブから形成される点、すなわち、特に、上部タブが、内側の側部タブの連続部として上部壁または底部壁、および/または、空洞部の境界のサブ領域を形成する点である。

【0007】

ヒンジ蓋付きボックスの1つの特別な形態は、必須要件としてアーチ状または多角形状に設計される底部壁および/または端部壁に存し、前記のアーチ状または多角形状は、1

50

つの側部壁またはカラーの一方の側部壁から他方へと、特に、パックの仮想中央垂直面に対し対称に延出する。1つの特別に有利な形態は、上部壁および/または底部壁が、3つの壁領域、すなわち、2つの横方向のアーチ状のまたは斜めの壁領域と、中央の平坦なまたは横断方向を向く壁領域を含む形態である。アーチ状の壁領域は、長円形の設計であること、換言すれば、側部壁に向かう領域が比較的顕著な円形を呈し、中央の壁領域に向かうならかな遷移部を備えることが好ましい。

【0008】

直方体のパック内容物、特にシガレットブロックは、底部壁および/または上部壁の領域の外に配置されるので、その結果、底部壁および/または上部壁の領域におけるパックの内部に空洞部または自由な室が形成される。前記の室は、パックの挿入物、例えば、印刷媒体またはクーポンのみならず、物品を収容するように機能する。

10

【0009】

この発明の更なる特徴は、模範具体例を参照しつつ、以下により詳細に説明される。

【発明を実施するための最良の形態】

【0010】

図示のパックは、シガレット用ヒンジ蓋付きボックスである。このタイプのパックは、(底部の)ボックス部10、(上部の)蓋11、および、別体のブランクから形成されるカラー12を含む。パックの内容物は、直方体の物品、すなわち、シガレットブロック13、言い換えれば、紙または錫箔製の包装材料を伴って形成されたシガレットのグループである。

20

【0011】

ボックス部10は、ボックスの前部壁14、これに対向して配置されたボックスの後部壁15、幅が狭い直立したボックスの両側部壁16、および底部壁17によって形成されている。対応して、蓋11は、蓋の前部壁18、蓋の後部壁19、蓋の両側部壁20、および、上部壁21を含む。ボックス部10と蓋11は、横断方向を向く直線状の関節22によって、ヒンジ蓋付きボックスの後部領域においてピボット可能な態様で、互いに接続される。

【0012】

カラー12は、カラーの前部壁23とカラーの両側部壁24を含む。カラー12は、ボックス部10に固定される、すなわち、ボックスの前部壁14、および/または、ボックスの両側部壁16に接着される。カラー12の上部サブ領域は、ボックス部10から突出する。正確に言えば、シガレットブロック13の高さに(ほぼ)対応して突出する。

30

【0013】

底部壁17および/または上部壁21は、特別な態様に設計される。図1～図5の模範具体例の場合は、底部壁17と上部壁21は、同一の形態をなしているので、ヒンジ蓋付きボックスは、-横断方向を向く仮想中心面に関し-対称な形状を備える。

【0014】

この模範具体例の場合は、底部壁17、したがって、上部壁21は必ずアーチ状の形状を呈する。特徴は、底部壁17および/または上部壁21の横方向の領域にある。すなわち、ヒンジ蓋付きボックスの両側部壁16、20に向かう領域が、アーチ状の形態、つまり、アーチ状の壁の領域、すなわち、側部セクション25を形成する点にある。これらの領域は、パックの直立側部壁に向かって横方向に遷移する。底部壁17および/または上部壁21の中央領域においては、この側部セクション25は、中央領域26に向かって平坦に、横断的に、または水平方向に遷移する。

40

【0015】

底部壁17と上部壁21は、特徴的に、前記両側部壁、すなわち、ボックスの両側部壁16および蓋の両側壁20にそれぞれ接続された対応した形状を備える曲折タブを含む。これは、内側のボックス側部タブ29および蓋の側部タブ30の連続部として設計される端部タブ27、28を含んでいる。側部タブ29、30は、二重層のボックスの両側部壁16と蓋の両側壁20の一部である。外側のボックスの側部タブ31と蓋の側部タブ32

50

は、ボックスの側部壁 16 と蓋の側部壁 20 の領域にのみそれぞれ延出するので、関連する側部壁 16、20 は、上部と底部の端末部として、外側の横断方向エッジ部 33、34 を備える。

【0016】

端部タブ 27, 28 は、上部壁 21 と底部壁 17 の平坦な中央セクション 26 内に延出する。1つの特徴は、図示の形態によって形成され、この場合、上部壁 21 と底部壁 17 に属する2つの側部セクション 25 が、横断方向を指向する周辺エッジ部、特に、垂直な中心パック面を介して互いに向き合って接する。したがって、側部セクション 25 の一方の端部領域は、水平方向の平坦な態様を指向する。

【0017】

更に、中央セクション 26 の領域の外側に、1つの被覆部が、好ましくは、この平坦な領域の幅全体に亘って、設けられる。この被覆部は、側部セクション 25 の互いに向き合う(端部)領域を互いに接続する。これは、上部壁 21 と底部壁 17 の横断方向に亘って延出するクロスピース 35 を含む。このクロスピース 35 は、蓋の前部壁 18 と蓋の後部壁 19 (上部壁 21) の間の接続部として、および、ボックスの前部壁 14 とボックスの後部壁 15 (底部壁 17) の間の接続部として設計される(図5参照)。対向する側部セクション 25 は、クロスピース 35 の内側に、特に接着によって、接続される。

【0018】

ブランク(図5)は、特別な態様で設計される。センターピース(36)は、ボックスの後部壁 15、蓋の後部壁 19、および、それらに接続された内側の側部タブ 29、30 を含む。端部タブ 27、28 は、側部タブの延出部内に伸びる。センターピース 36 は、上部ピース 37、38 によってクロスピース 35 を介してボックスの前部壁 14 およびボックスの側部タブ 31、および、蓋の側部タブ 32 を備える蓋の前部壁 18 と接している。また、上部ピース 38 には、蓋の前部壁 18 の内側と向き合って折り重ねられる蓋の内側タブ 39 が設けられる。

【0019】

アーチ状の側部セクション 25 を形成するために、端部タブ 27、28 の形状形成は、対応して準備される端部タブ 27、28 のおかげで特別なツールを要せずに行うことができる。これらの端部タブは、横断方向を向く折り目 40 を備えており、これらの折り目は、打ち抜き加工によって展開ブランクの面に形成される。折り目 40 は、アーチ型の形状によって作られる軌跡に応じて互いに異なる間隔で形成される。言い換えれば、曲率が比較的大きい領域においては、間隔が狭い。クロスピース 35 もまた折り目 40 を備えており、外観が一様な構造の上部壁 21 と底部壁 17 を提供する。

【0020】

寸法が安定したヒンジ蓋付きボックスを提供するために、端部タブ 27、28 は、少なくとも、アーチ状の側部セクション 25 の領域において、一方においては、対応するアーチ状の輪郭 41 を備えるように設計されるボックスの前部壁 14 およびボックスの後部壁 15 の自由なエッジ部に支持されるとともに、アーチ状の輪郭 41 と接する蓋の前部壁を支持する。寸法は、ボックスの側部タブ 29 と蓋の側部タブ 30 が、パックの側部壁の幅よりも(僅かに)小さくなるように、他方においては、拡幅部分 42 の横断方向の寸法が、パックおよび/またはパックの側部壁の幅に(ほぼ)対応するように選択される。

【0021】

1つの特徴は、輪郭 41 の形状によって形成される。これは、どちらの場合も、長円形セクション 43 (図6参照)および直線状の中間セクション 44 を含む。上部壁 21 (または底部壁 17) の先端区画は、したがって、中間の中央セクション 26 に対応する水平な中間セクション 44 を伴う2つの長円形セクション 43 を含む。

【0022】

セクション 43、44 の寸法は、正確には、一方においては長円セクション 43 の軸すなわち長軸 a と短軸 b、他方においては、ヒンジ蓋付きボックスの全幅 B に対応して互いに次のように調整される。

10

20

30

40

50

すなわち、

$$0.2 \times B - a > 0.4 \times B$$

また、次のようにも規定できる、すなわち、

$$0.2 \times (B/2 - a) < b < 3 \times (B/2 - a)$$

中央セクション 26 に対応する中間セクション 44 の幅は、 $B - 2a$ から計算することができる。

【0023】

パックの別の特徴は、(先端部の)蓋の閉鎖エッジ部 45 が、底部のボックスの閉鎖エッジ部 46 から離間される点である。このことは、横断方向を向くストリップ状の開口部 47 をもたらし、この領域におけるパックの別の特徴は、(先端部の)蓋の閉鎖エッジ部 45 が、底部のボックスの閉鎖エッジ部 46 から離間されることである。このことは、横断方向を向くストリップ状の開口部 47 をもたらし、カラーの前部壁 23 が、この区域に見える。閉鎖エッジ部 45、46 は、互いに平行に延出し、ヒンジ蓋付きボックスの長手方向を横断する方向を向く。

10

【0024】

1つの特別なヒンジ蓋付きボックスが図7に示されている。これは、上部の区域が、上に述べた態様で、すなわち、言い換えれば蓋 11 に関して、アーチ状の輪郭の上部壁 21 を備えるように設計される。底部区域においては、このヒンジ蓋付きボックスは、従来どおりのデザイン、すなわち、水平方向すなわち横断方向を向く平坦な底部壁 48 を備えている。従来のパックと同様、底部のコーナータブ 49 は、底部壁 48 の内側と接している。

20

【0025】

ボックスの内容物、すなわち、シガレットブロック 13 は、底部壁 17 および/またはアーチ状の輪郭を備える上記のヒンジ蓋付きボックス内において、前記アーチ状の造形領域外にとどまるように配置される。空洞部または室 50、51 がこのようにしてシガレットブロックの上方と下方に生じる。この室は、一方においては、上方と下方で特殊な態様で形成される上部壁 21 と底部壁 17、および、シガレットブロック 13 によって限られるとともに、他方、横断方向においては、対応して延出し形成されたボックスの前部壁 14、ボックスの後部壁 15 および蓋の前部壁 18 と蓋の後部壁 19 によって限られる。この空洞部または室は、ヒンジ蓋付きボックス用の挿入物、例えば、広告目的の説明印刷媒体またはクーポンの収納に適切である。しかしながら、室 50、51 の一方および/または他方に有用な物品を収容することも可能である。図7の具体例の場合には、シガレットブロック 13 は、底部壁 48 または底部のコーナータブ 49 の面に直接接している。

30

【0026】

ヒンジ蓋付きボックスの1つの特別な形態が、図8~10に示される。上部壁 21 は、多角形の態様で互いに接する専ら平坦な壁領域を含む。2つの側部セクション 25 は、屋根根の態様で、斜め方向を向いている。脚部として設計されるこれらの側部セクション 25 は、一方において、直立するボックスの側部壁 16、20 に対して、他方において、水平な中央セクション 26 に対して、1つの鈍角を囲む。図10からわかるように、側部セクション 25 は、横断方向の曲折線 53 によって、一方において、側部壁および/または内側の側部タブ 30 から、他方において、水平方向に向く上部脚部 52 から区画される。このパックの場合には、側部セクション 25 と上部脚部 52 が、蓋の側部タブ 30 の連続部分として設計されてもよい。更には、クロスピース 35 が、中央セクション 26 の領域における外側カバーとして設けられる。このクロスピースは、図8~10の模範具体例においては、先行する模範具体例におけるよりも大きな幅を備えるように設計される。

40

【0027】

パックの内容物(シガレットブロック 13)を越えて延出する蓋の前部壁 18 と蓋の後部壁 19 は、突出領域における台形または多角形の輪郭部 41 を備えて設計される(図10参照)。その端部タブ 27、28、または、側部セクション 25 は、輪郭部 41 によって形成される自由なエッジ部の拡幅部 42 を介して支持される。これによって、屋根状また

50

は台形状の輪郭の、正確に言うと、ヒンジ蓋付きボックスの中央垂直面に関して対称な室50が生じる。この模範具体例が、(図1および2と同様に)端部側としての底部側と同じように設計されることも可能である。更に、図10のブランクは、底部壁48の領域において、図7の模範具体例に対応した態様で設計される。

【0028】

図11~13のヒンジ蓋付きボックスの場合は、パックの内容物を越えるヒンジ蓋付きボックスの(直立)面、すなわち、ボックスの側部壁16と蓋の側部壁20における両側部壁の延出部から生じる室50が、シガレットブロック13(の上方)に設けられる。側部壁16、20の突出部分は、長さを異にするのでその結果として、室50は、台形または三角形(垂直断面)である。図示の具体例においては、側部壁16、20の両層が、室50の領域内、言い換えれば、外側の(蓋の)側部タブ30のみならず外側の(蓋の)側部タブ32内まで延出されている。側部壁16、20は、外縁エッジ部54、55まで延出している。内側の側部タブ30に接続された端部タブ27、28は、それぞれ、鋭角と鈍角で、上部壁21の面内に転向される。この上部壁は、ヒンジ蓋付きボックス(図13)の全幅に亘って延出する曲折タブによって形成されている。端部タブ27、28は、それぞれに、設計を異にする。言い換えれば、端部タブ27は長方形で、端部タブ28は、蓋11の一部および/または蓋の曲折タブの傾斜配置のために台形である。

【0029】

室50の輪郭のため、蓋の前部壁18と蓋の後部壁19は、台形の設計をなしている(図13)。蓋の後部壁19は、斜め方向を向いた曲折線56によって、(長方形の)上部壁21から区画されている。ブランクの隣接壁領域と曲折タブは、かくてブランクの長手方向延出部に対して斜めの方向を指向している(図13)。蓋の前部壁18と蓋の後部壁19が対応する大きさに決められるために、ヒンジ蓋付きボックスは、-室50が三角形の場合-上部壁21が、シガレットブロック13の上部限界に直接終わるように、すなわち、外縁エッジ部55が、シガレットブロック13とほぼ同じ部位に位置するように設計されることができる。更に、ヒンジ蓋付きボックスのこの形態は、底部領域にも室を備えることも可能である。

【0030】

一方における曲折線56と展開ブランク中の蓋の閉鎖エッジ部45の傾斜した配置は、ヒンジ蓋付きボックスが完成した状態にあるとき、蓋の閉鎖エッジ部45が、直立したパックのエッジ部を横断して、かくて、ボックスの閉鎖エッジ部46に平行に配置されることを保証する。

【0031】

図14、15および16のヒンジ蓋付きボックスの場合には、蓋11(または底部)の端部側領域が、特別な態様で設計される。内側の蓋の側部タブ30の端部タブ27、28は、パックの内容物を越えて延出され、鋭角を形成して折り曲げられ、その結果、上部壁21の一部として下方に向く側部セクション25が形成される。端部タブ27、28の上部脚部52は、パックの長手方向の幅および/またはシガレットブロック13を横断する位置に曲折され、内側においてクロスピース35に接続される。クロスピースは、中央セクション26を形成する。上部脚部52は、接着等によって内側においてクロスピース35の周辺領域に接続されている。結果として生じた中央セクション26は、上部においてシガレットブロック13と向き合って接してもよく、シガレットブロックから離間しても差し支えない。この形態は、シガレットブロック13の上部に形成される室50の特別な輪郭を提供する。この形態は、ふさわしいならば、断面が三角形の2つのサブ室を含む。

【0032】

この模範具体例の場合は、クロスピース35が、大きい幅を備え、上部壁21の幅全体に亘って、多少ともこれを越えるように設計される(図16)。内側の側部タブ30に続く端部タブ27、28は、外側の蓋の側部タブ32と向き合って接しており、単に打ち抜きカット部57によってのみ分離されている。この模範具体例の場合は、蓋の前部壁18と蓋の後部壁19の輪郭が、上部壁21のそれぞれの形状に合致する。

【 0 0 3 3 】

端部領域と底部領域は、ヒンジ蓋付きボックスのすべての形態を通じて同一設計である。しかしながら、有利な形態は、1つの室が、蓋の領域にのみ設けられる形態である。更に、ヒンジ蓋付きボックスは、図示のように、または、代替案として、蓋が閉じられたとき、蓋の閉鎖エッジ部45とボックスの閉鎖エッジ部46が互いに向き合って接するように設計してもよい。

参照符号一覧

10 ... ボックス部, 11 ... 蓋, 12 ... カラー, 13 ... シガレットブロック, 14 ... ボックス前部壁, 15 ... ボックス後部壁, 16 ... ボックス側部壁, 17 ... 底部壁, 18 ... 蓋の前部壁, 19 ... 蓋の後部壁, 20 ... 蓋の側部壁, 21 ... 上部壁, 22 ... 直線状の関節部, 23 ... カラーの前部壁, 24 ... カラーの側部壁, 25 ... 側部セクション, 26 ... 中央セクション, 27 ... 端部タブ, 28 ... 端部タブ, 29 ... ボックスの側部タブ, 30 ... 蓋の側部タブ, 31 ... ボックスの側部タブ, 32 ... 蓋の側部タブ, 33 ... 横断方向エッジ部, 34 ... 横断方向エッジ部, 35 ... クロスピース, 36 ... センターピース, 37 ... 上部ピース, 38 ... 上部ピース, 39 ... 蓋の内側タブ, 40 ... 折り目, 41 ... 輪郭部, 42 ... 拡幅部分, 43 ... 長円形セクション, 44 ... 直線状の中間セクション, 45 ... 蓋の閉鎖エッジ部, 46 ... ボックスの閉鎖エッジ部, 47 ... 開口部, 48 ... 底部壁, 49 ... 底部のコーナータブ, 50 ... 空洞部, 51 ... 空洞部, 52 ... 上部脚部, 53 ... 曲折線, 54 ... 外縁エッジ部, 55 ... 外縁エッジ部, 56 ... 曲折線, 57 ... 打ち抜きカット部, a ... 長軸, b ... 短軸, B ... 全幅。

10

20

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 3 4 】

【 図 1 】 蓋が開いた状態のシガレット用ヒンジ蓋付きボックスの斜視図。

【 図 2 】 蓋が閉じた状態にある図1のパック。

【 0 0 3 5 】

【 図 3 】 III - III断面に沿う垂直断面における図2のヒンジ蓋付きボックス。

【 図 4 】 図2のヒンジ蓋付きボックスの正面図。

【 図 5 】 図1～図4のヒンジ蓋付きボックスを製造するためのブランクの展開図。

【 図 6 】 パックの上部壁の幾何学的形状を説明するダイアグラム。

【 図 7 】 図3に対応する垂直断面におけるヒンジ蓋付きボックスの別の具体例。

30

【 図 8 】 図7と同様の垂直断面におけるパックの更に別の具体例。

【 図 9 】 図8のヒンジ蓋付きボックスの正面斜視図。

【 図 10 】 図8、9のヒンジ蓋付きボックスのための展開ブランク。

【 図 11 】 図8と同様な垂直断面におけるヒンジ蓋付きボックスの更に別の具体例。

【 図 12 】 図11のヒンジ蓋付きボックスの正面斜視図。

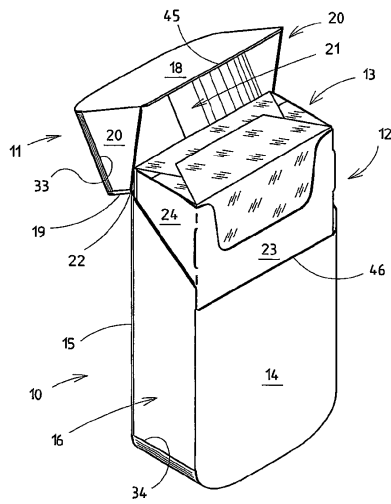
【 図 13 】 図11、12のヒンジ蓋付きボックスのための展開ブランク。

【 図 14 】 図11と同様な垂直断面におけるヒンジ蓋付きボックスの更に別の具体例。

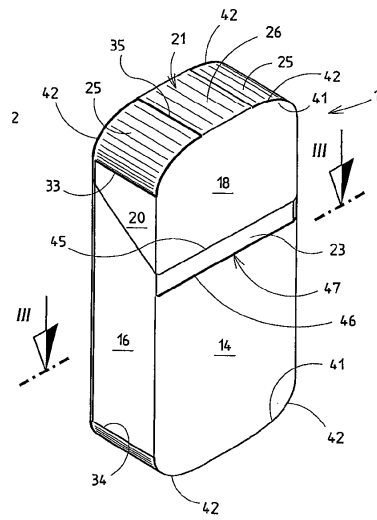
【 図 15 】 図14のヒンジ蓋付きボックスの正面斜視図。

【 図 16 】 図14、15のヒンジ蓋付きボックスのための展開ブランク。

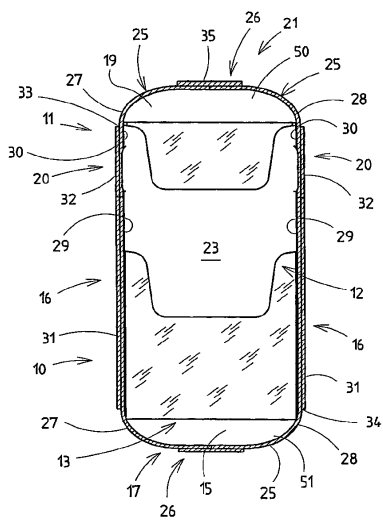
【図 1】



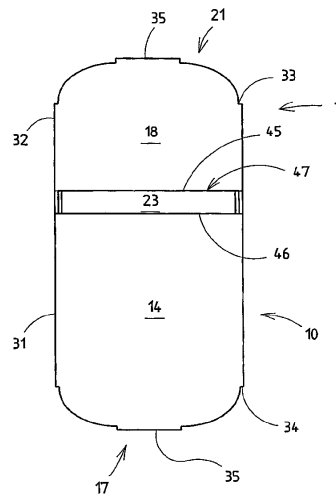
【図 2】



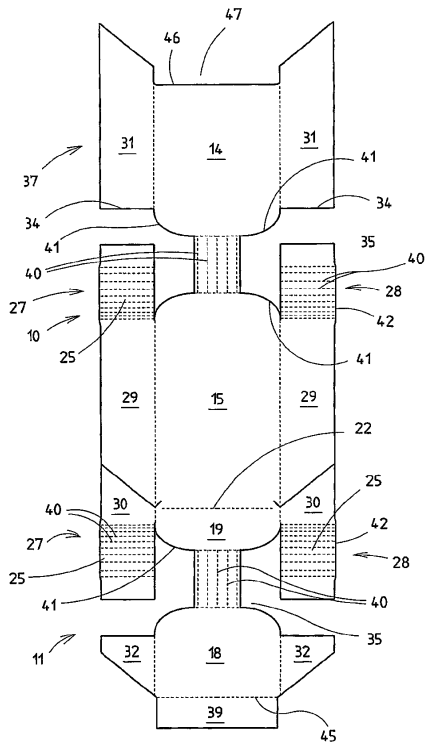
【図 3】



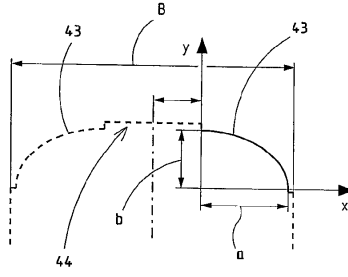
【図 4】



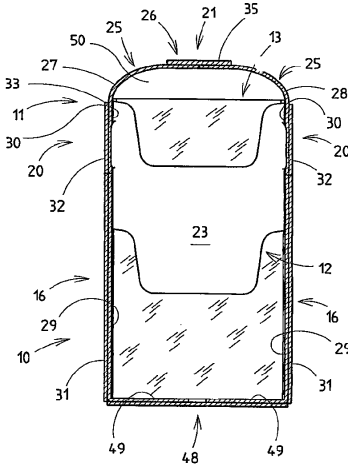
【 図 5 】



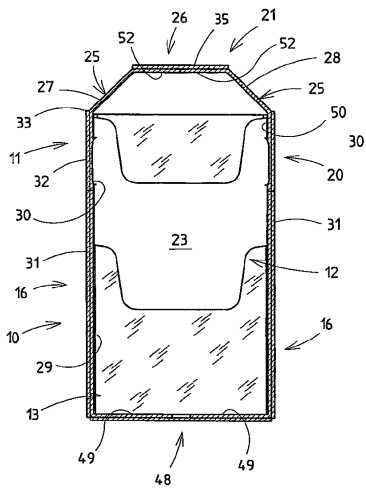
【 図 6 】



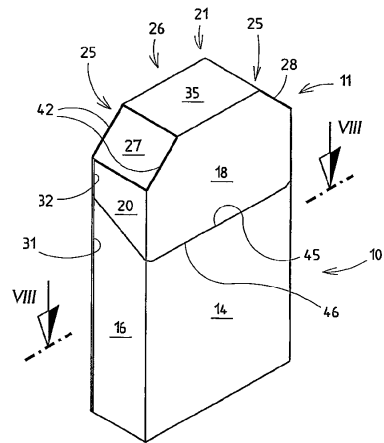
【 図 7 】



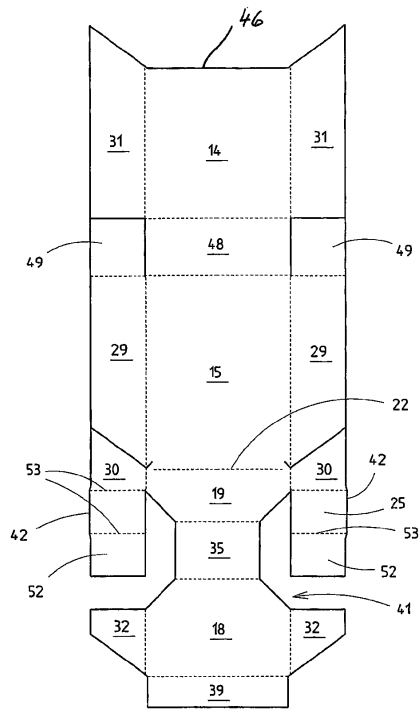
【 図 8 】



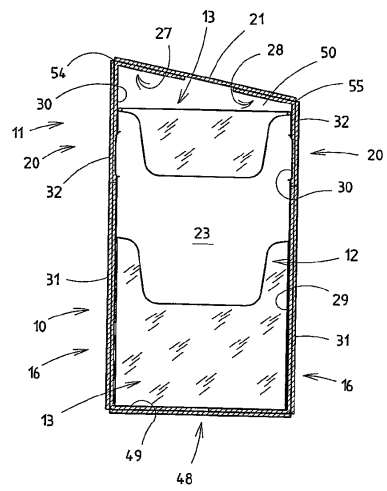
【 図 9 】



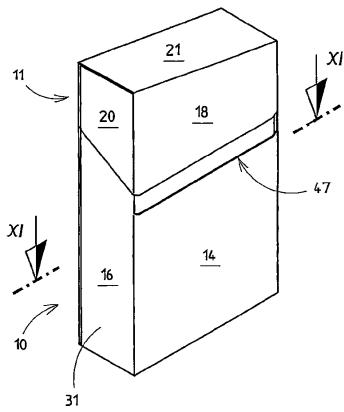
【 図 1 0 】



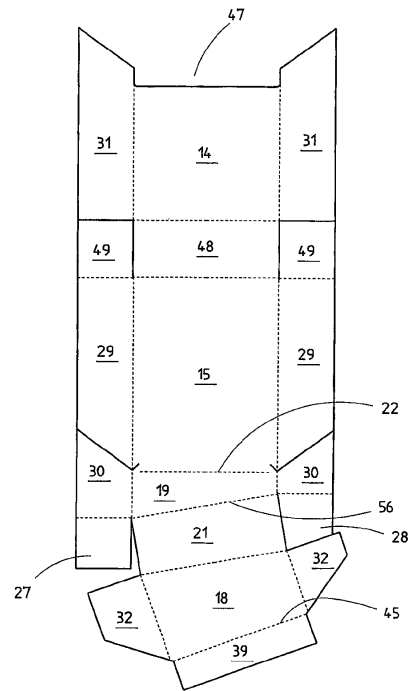
【 図 1 1 】



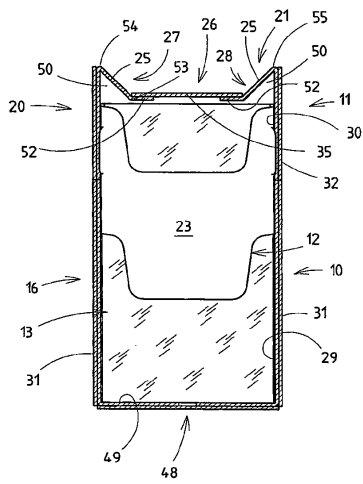
【 図 1 2 】



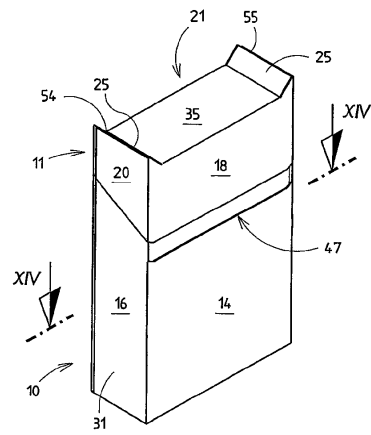
【 図 1 3 】



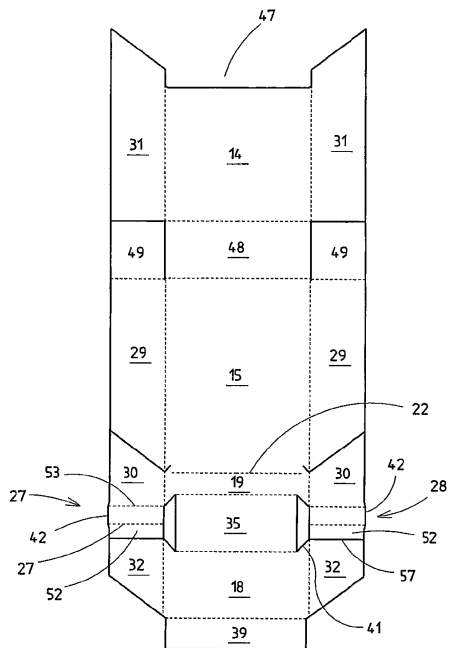
【 図 1 4 】



【 図 1 5 】



【 図 1 6 】



フロントページの続き

- (74)代理人 100088683
弁理士 中村 誠
- (74)代理人 100109830
弁理士 福原 淑弘
- (74)代理人 100075672
弁理士 峰 隆司
- (74)代理人 100095441
弁理士 白根 俊郎
- (74)代理人 100084618
弁理士 村松 貞男
- (74)代理人 100103034
弁理士 野河 信久
- (74)代理人 100119976
弁理士 幸長 保次郎
- (74)代理人 100153051
弁理士 河野 直樹
- (74)代理人 100140176
弁理士 砂川 克
- (74)代理人 100100952
弁理士 風間 鉄也
- (74)代理人 100101812
弁理士 勝村 紘
- (74)代理人 100070437
弁理士 河井 将次
- (74)代理人 100124394
弁理士 佐藤 立志
- (74)代理人 100112807
弁理士 岡田 貴志
- (74)代理人 100111073
弁理士 堀内 美保子
- (74)代理人 100134290
弁理士 竹内 将訓
- (74)代理人 100127144
弁理士 市原 卓三
- (74)代理人 100141933
弁理士 山下 元
- (72)発明者 ブセ、ヘンリー
ドイツ連邦共和国、2 7 3 7 4 フィッセルヘフェーデ、ドレッセル・ヌンマー、8

審査官 田村 耕作

- (56)参考文献 実開平03-023090(JP,U)
実開昭53-012424(JP,U)
実開平03-043419(JP,U)
特開平07-052981(JP,A)
米国特許第02333270(US,A)
特開平07-206062(JP,A)
英国特許第02175884(GB,B)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)

B65D 85/10

A24F 15/12